



高木瀬小学校 学校だより

第2号
R8.5.8発行
文責:橋口

「ようこそ 高木瀬小へ！ 笑顔とはじける歌声で迎えた1年生」

4月28日(火)は、「1年生を迎える会」を行いました。体育館の扉が開くと、そこには少し緊張した面持ちの1年生の姿がありました。6年生としっかりと手をつなぎ、頭にはプレゼントされたばかりの「金色の大きな王冠」。全校児童の割れんばかりの拍手の中を一步一步進む1年生の姿に、会場が一気にパッと明るく華やいだのが印象的でした。

特に、この日を一番楽しみにしていたのは2年生かもしれません。「今度は自分たちがお兄さん、お姉さんなんだ」というちょっと誇らしげな表情で、身を乗り出す姿がありました。在校生の熱烈歓迎を感じてか、1年生の緊張していた顔も、次第にリラックスしてきたようで笑顔へと変わっていきました。

計画委員会による「学校クイズ」では、高木瀬小学校にまつわる問題が次々と出され、体育館は「やった！当たった〜」などの大きな歓声に包まれ、とても盛り上がりました。

各学年からのプレゼントの紹介の後は、全員での校歌斉唱です。これまで何度も聞いてきた校歌ですが、この日の歌声には驚かされました。1年生を歓迎する気持ちが溢れすぎたのか、それともその後の遠足の期待感からなのか、全員がいつも以上に張り切って歌った結果、なんと伴奏が聞こえなくなってしまうほどの迫力になったのです。このような現象は、私も校長として初めての経験で、子どもたちの「1年生を心から歓迎したい」という純粋なエネルギーに、胸が熱くなりました。

温かい拍手、輝く王冠、そして伴奏をかき消すほどの歌声。全校児童のわくわくする気持ちが溢れた最高の「迎える会」となりました。



6年生と手を繋いで入場する1年生



迎える在校生も笑顔いっぱい



計画委員会の楽しいクイズ

1年生へのプレゼント

- 2年生…バッチンカエル
- 3年生…メダル
- 4年生…びゅんびゅんゴマ
- 5年生…手紙付き歌詞カード
- 6年生…金色の王冠

「春の遠足における6年生の姿が証明したこと」

「1年生を迎える会」の後、春の遠足を実施しました。1年生と6年生はペアになって「高木瀬ふれあい公園」へ、2年生から5年生は「河畔公園」へと、それぞれ元気に出発しました。

私は1・6年生に同行したのですが、道中、胸が熱くなる光景を何度も目にしました。

歩道が狭くなる場所では、6年生が当たり前のように車道側に身を置き、1年生をかばうように歩いていました。また、横断歩道では小さな手をひき信号が変わる前に渡り切るよう声をかけていました。帰り道、疲れが見える1年生のリュックや水筒を、さっと肩代わりしてあげる姿もありました。

今の6年生が3年生だった頃、私はこの学校に赴任し、彼らの成長を4年間、ずっと見守ってきました。

かつては、休み時間が終わっても「まだ遊びたい!」と教室になかなか戻らなかったAさん。喧嘩の後、「自分は悪くない」と顔を膨らませて先生に食って掛かっていたBさん。そして、授業中にふらりと校長室へ遊びに来ていたCさん。そんな個性豊かで、時に私たちをハラハラさせていたあの子どもたちが、今、自分のペアの1年生が安全に楽しめるよう、慈しむような笑顔でお世話をしている。その頼もしい背中を見て、私は何度も涙が出そうになりました。

「その子なりの成長を信じて、どの子にもたっぷりの愛情を注ぎ、寄り添い、支えていけば、どの子も必ず応えてくれる」6年生たちの姿は、私たち教職員にその確信を与えてくれました。本校が大切にしてきた「どの子も可能性の塊である。焦らずに子ども一人一人の成長を伴走支援する教育」は間違っていなかったのだと、子どもたち自身が証明してくれた気がします。これからも、子どもたちの等身大の成長を、ご家庭と共に温かく見守っていきたいと思います。

学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」



「1年生が楽しめるように」と、遠足前の学校探検で自分で考えて動いた6年生の姿

「一刻を争う事態に備えて — 命を守るための風水害避難訓練」

遠足から帰着後、全校で「風水害避難訓練」を実施しました。本校では、令和5年度より、町区ごとの集合ではなく「学年別の一斉下校」という形をとっています。これには明確な理由があります。

大雨や冠水といった危機が迫る中では、「一刻も早く、安全に全員を下校させること」が最優先です。850名を超える児童が町区ごとに集まるには、これまでの経験上、約一時間を要します。さらに、急な下校先の変更を担当から町区担当へ正確に伝達するなどの段階を挟むと、貴重な時間がさらに失われてしまいます。一分一秒を争う実際の場面では、町区別の集団下校は実用的ではないと判断いたしました。

一方、保護者の皆様への「車による引き渡し」についても、本校の規模や敷地、周辺道路の狭さを考慮すると、深刻な渋滞を招き、緊急車両の通行を妨げる恐れがあるため、現実的ではありません。

今回の訓練では、昇降口の混雑を避けるため、学年ごとに1分程度の間隔をあけてスムーズな下校を開始しました。児童が校門を出る際には、級外職員が前もって通学路の危険箇所立ち、学級担任も全児童の下校を見届けた後、校区内を巡回して子どもたちの様子を見守りました。

本校では、「命・人権・法律」に関することは、厳しく指導をします。今回の訓練前には、私から「自分の命を守るという明確な目的をもって訓練をすること。命を守る行動を考えて行動するように」と注意を行いました。災害はいつ起こるかわかりません。学校として「子どもの命を守るための最善策」を常に検証しています。

「笑顔の輪が広がった学級懇談会 — 『来て良かった』をコンセプトに」

5月1日(金)はお忙しい中、平日の学級懇談会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回の懇談会は、授業参観を伴わない単独での開催であったため、各担任は「わざわざ足を運んでくださった学校サポーターの皆様」に、「来て良かった」と感じていただける時間を創ろう!というコンセプトで準備を進めてまいりました。

私も全学級の様子を見て回りましたが、教室には笑顔が溢れ、時には大きな歓声や拍手が聞こえてくるなど、大いに盛り上がっている学級が多くありました。

新学期が始まってからの子どもたちの生き活きとした表情を動画や画像で共有したり、サポーター同士の絆を深めるためのミニゲームを楽しんだり、どの教室も温かな熱気に包まれていました。皆様の積極的なご参加と、学級を盛り上げようとしてくださるお心遣いに、心より感謝申し上げます。

お仕事などのご都合で、今回残念ながら参加が叶わなかった皆様も、どうぞご安心ください。今後も授業参観や親子学級など、お子さんの様子や学校の雰囲気を感じていただける機会を準備しております。

学校サポーターの皆様と私たちが手を取り合い、笑顔でつながっていることが、子どもたちにとって一番の安心感になります。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

※本校では、保護者の皆様を、共に子どもたちの成長を支え合う大切なパートナーとして「学校サポーター」と呼ばせていただいております。



PTA 総会、無事に終了!

学校運営協議会委員長の池田様、自治会長会長の原口様はじめ本校を支えてくださっている来賓の皆様をお迎えして、PTA 総会を開催しました。PTA 本部役員の皆様の周到な準備、及び参加くださった会員の皆様のご協力のおかげで滞りなく終えることができました。旧役員の皆様、お疲れさまでした。

学校運営に多大なご協力を賜りましたし、何より「子ども達のために良い学校を創ろう」と同士となったことがとても心強かったです。ありがとうございました。新役員の皆様、どうぞ1年よろしく願いいたします。